



学校法人 日本芸術学園
日本芸術高等学園

令和3年度 自己点検・評価報告書

令和4年8月1日

<教育理念>

「感動の教育」… 感動は人生を開く。感動が人生を起こし、行動が人生を変える

「品格の教育」… 知識・技術・人格・礼節を兼ね備えた、品格ある人間の教育

「変革の教育」… 変革 (Change)・挑戦 (Challenge)・達成 (Conquest)

<教育の特色>

生徒が主体的に学べる教育カリキュラムの編成に取り組み、すべての生徒に自分の中にあるかけがえのない宝物を発見してもらい、それらを発展させる「Precious Treasure 教育」を推進している。

<教育の目標と重点>

目標① エンターテインメント業界に要望されるプロフェッショナルの養成
・実技教科の充実 (演技系 9 教科、ダンス系 10 教科、音楽系 10 教科)

目標② 芸術表現・創造を通じて人間理解を深め人格形成を培う

芸術鑑賞及び学校行事の充実

・芸術鑑賞 劇団四季「アナと雪の女王」、「ライオンキング」鑑賞

東宝「千と千尋の神隠し」

・校外学習 「東京ディズニーシー」

「八景島シーパラダイス」

・文化発表展の開催

・卒業旅行 「東京ディズニーランド」

目標③ 社会において自立のために技術・技能や専門知識等を獲得し、また、人格と礼節と共に、基礎的な教養や生活力を身につけさせ、実社会に送り出す

・現代の国語、国語総合、英語コミュニケーション、英語総合、歴史総合、公民総合などの座学教科指導

<進路指導の充実教育>

・大学進学 約 19%

・専門進学 約 35%

・芸能活動 約 35%

・就職、その他 約 11%

<教育課程>

- ・カリキュラムの特色化と適切性
エンターテインメント業界で活躍できる人材として技術を磨くとともに、社会人基礎力を涵養し、育成を目指している。
- ・教育システム全体の工夫と充実
生徒の習熟度を測りながら、2年次より選択科目を導入し、柔軟に対応。各種学校行事、コミュニケーション学において外部講師による講演などを取り入れ、社会とかかわる流動的な機会を確保している。

<教育環境>

- ・コロナ感染対策として、パーテーション、サーキュレーター等の追加購入
- ・冷水機、ギタースタンド等学習教材の充実
- ・芸能プロダクション各社との連携、所属、情報共有
- ・スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施

<教科指導>

- ・指導計画
年間のシラバスによる教科計画に従って、問題なく進行した。2学年、3学年には選択制授業を導入した。
- ・成績評価および授業評価
 - 成績評価
座学教科、実技教科共に平常点およびテスト点を総合し、数値化している。
 - 授業評価
現場経験豊富な講師陣から、十分な感染防止策をした上で対面式の授業に重きを置いている。

<生徒の活動>

- 生徒活動の充実
生徒会を中心に各部活の部長間での連携をはかり、各行事の企画や進行を行い、文化発表展等のイベントで尽力した。
- 部活動実績
 - ・演劇部、フラダンス部など13の部活、4の同好会が活動
 - ・フラダンス部は11月に行われた「オンラインフラフェスティバル」に出場

<進路指導の充実>

- 1年次 担任との二者面談、カリキュラムによる学習の充実
- 2年次 担任との二者面談、進路希望調査の実施
- 3年次 夏に保護者を含めた三者面談の実施

各大学、短期大学、専門学校等の資料を置き、希望する生徒が閲覧できるようにし、十分な進路指導を行った。

<安全および危機管理>

- ・消防設備点検の実施
- ・定期健康診断の実施

<令和4年度（2022年度）の取り組み>

- ・シラバスの作成及び年度当初に配布予定
- ・英語コミュニケーションと英語総合の授業を習熟度別クラス分けにして実施予定
- ・ヒューマンコミュニケーションの授業を連続二時間に変更予定
- ・ダンス系授業にアニメーションダンスを追加予定
- ・演技系授業に企画演出、演劇表現を追加予定

以上